

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	男女共同参画推進費		部課コード	1018	予算事業科目	010201120205	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	市民協働部	部長名(2次評価者)	森田 恵介		個別事務	全部	010201120205	-		
	担当部署	人権同和・男女共同参画課	所属長名(1次評価者)	橋本 仁美					-		
	電話番号	088-823-9449	E-mail	kc-101800@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	01 共生の輪	政策基本方針	本市では平和と人権を大切に社会づくりをめざし、さまざまな取組みをおこなっている。男女ともに社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、すべての人が個性や能力を十分に発揮できる社会の実現をめざします。					
款	02 総務費	政策	08 平和を守り人権を尊重する社会づくり							
項	01 総務管理費	施策	03 男女共同参画社会づくり							
目	12 市民活動費	区分	01 男女共同参画推進							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	男女がともに輝く高知市男女共同参画条例	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民・事業者・職員等	
意図	どのような状態にしていくのか	男女がそれぞれの個性と能力を発揮し、いきいきと暮らすことのできる社会づくりを目指します。	
手段	事業実施体制等	男女共同参画推進委員会、男女共同参画推進本部(本部会・幹事会・部局推進員会)、職員による啓発活動	事業開始年度 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	男女共同参画推進委員会による市の各課事業評価(プラン2011)、男女共同参画推進本部活動による市職員への意識の浸透、「男女共同参画の日」・パネル展・学習会等の開催による市民への啓発	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A		
	B		
	C		

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄
成果指標	A	目標					
		実績					
	B	目標					
		実績					
	C	目標					
		実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,074	1,662	1,154	1,073	
		財源内訳	国費 (千円)		963	963	
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	1,074	699	191	1,073
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	22,200	21,600	21,600	22,200	
		正規職員 (千円)	22,200	21,600	21,600	22,200	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	3.00	3.00	3.00	3.00	
		正規職員 (人)	3.00	3.00	3.00	3.00	
		その他 (人)					
総コスト= ① + ② (千円)		23,274	23,262	22,754	23,273		
市民1人当たりコスト (円)		69	69	67	総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,714	339,130	337,875			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

プラン2011は、男女共同参画推進委員会の評価に附すこととしており、毎年評価いただいている。また市役所来庁者への市民アンケートも実施しており、市民への男女共同参画の視点が各事業を通じて、拡がっているかを聞き取り調査している。どちらかといえば、アンケートの形ではあるが、こうしたアンケートを実施することによる男女共同参画の視点の拡がりを少しでも市民の中に定着させていくための取組みとなっている。昨年度の市民アンケートの結果は、2.6となっており、委員会評価は2.2、各課の自己達成度は1.8(いずれも3点満点)であった。

6 1次評価(所属長評価)

評価日(平成24年 8月 24日)

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	高知市男女がともに輝く高知市男女共同参画条例に基づき、男女共同参画社会の実現にむけて取組をすすめるため、男女共同参画推進プラン2011を作成した。このプランの取組をすすめていく事で、男女共同参画の視点の浸透を図ると共に、各種啓発事業を実施していく。 特に8月1日の男女共同参画の日を中心とした学習会やパネル展など、メッセージや企業の表彰式を行い、広く市民・事業者へ周知し啓発していくこととしている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	プラン2011は、全庁で取り組んでいる各種の事業のうち、特に男女共同参画の視点が必要かつ重要な事業について、評価することとしている。毎年評価対象事業を本部会で決定し、幹事会を通して公表し、事業実施に臨んでいる。男女共同参画の視点を浸透させていくことがねらいであり、達成状況についても男女共同参画推進委員会での評価だけでなく、市民アンケートにより、必要度について調査し、また各事業実施課での自己評価も実施している。当年度評価ということもあり、迅速に対応できることから、プラン推進の有効性を担保している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	男女共同参画社会の実現のためには、市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要があるが、男女共同参画の啓発に関しては、ソーレとの連携により、実施している。女性団体やNPO、大学生などとも連携して、効率的にすすめていく事も検討していきたい。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	ほとんどが啓発事業となっており、受益者負担等を課すことはできにくい。特定の研修実施や実費を伴う事業等については、負担してもらっている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価(部局長評価)

評価日(平成24年 9月 14日)

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	一次評価と同じ
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項